

議会だより第43号

平成28年第2回定例議会

平成28年第2回定例議会が6月7日から24日までの18日間の会期で開催されました。

この定例議会では、市長から提出された平成28年度いすみ市一般会計補正予算ほか9議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、承認されました。また、議会に寄せられた請願2件については採択し、国会等への意見書が可決され、関係機関へ送付しました。

主な議決内容

○平成28年度一般会計補正予算は、1億5457万2千円を追加し、総額151億157万2千円とすることは全会一致で可決されました。

平成28年第2回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（いすみ市税条例等の一部改正）	承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて（いすみ市固定資産評価審査委員会条例の一部改正）	承認
議案第3号	いすみ市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
議案第4号	いすみ市議会議員及びいすみ市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決
議案第5号	いすみ市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	可決
議案第6号	いすみ市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第7号	いすみ市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第8号	いすみ市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第9号	平成28年度いすみ市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第10号	平成28年度いすみ市一般会計補正予算（第2号）	可決
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第2号	事故繰越し繰越計算書について	報告
報告第3号	事業会計予算の繰越計算書について	報告
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択
請願第2号	「国における平成29（2017）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択
発議第1号	発言取り消し申し出について	可決
発議第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	可決
発議第3号	国における平成29（2017）年度教育予算拡充に関する意見書について	可決



委員会

審査

報告

6月16日と17日に、各常任委員会が開催され、委員会付託された議案及び請願を審査しました。

ここでは、議案第9号平成28年度いすみ市一般会計補正予算における主な質疑及び答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案4件について審査を行いました。

問 消防費の地域防災対策事業の津波避難施設整備検討調査について、避難タワー

と築山設置の検討とのことだが、他にはどのようなものがあるのか。

答 調査結果を踏まえ、津波避難道路や津波避難誘導標識などについても総合的に検討します。

文教厚生常任委員会

議案4件及び請願2件について審査を行いました。

問 教育費のスクールガード事業の需要費について、スクールガード用ベストを購入することのだが、登録者数及び購入数について伺いたい。

答 現在560名の登録があり、500着の購入を予定しています。

産業建設常任委員会

議案1件について審査を行いました。

問 地方創生推進交付金事業の地域資源研究開発委託料について、事業の内容を伺いたい。

答 著名な料理人を招き、地元生産者を対象に市の食材を用いた料理研究講習会を実施し、新たな製品の開発と食材の付加価値を上げる内容です。



Q&A 一般質問 市政をきく

第2回定例議会の一般質問は、6月9日に6名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第2回定例議会の会議録は9月上旬に公開を予定しています。)

岩井豊重 議員	市民が望む「安全・安心な医療体制」の充実／環境問題／将来を見据えた森林整備の活用
田井秀明 議員	大規模災害時の備え／自殺対策／子育て支援
高森和久 議員	平成28年(2016年)熊本地震を踏まえたいすみ地域防災計画の見直し／職員の定員適正化計画に基づく人事管理／職員研修の基本方針策定
荒井 正 議員	障害者差別解消法／介護保険の充実／防災対策
横山正樹 議員	観光振興政策／地震・津波対策
山口朋子 議員	公共施設の整備／投票率の向上と投票所の拡充



市民が望む「安全・安心な医療体制」の充実

岩井豊重議員

答 安心して受診できる医療サービスの提供と持続的な経営の確保の両立を目指す

岩井議員 いすみ医療センターの独立行政法人化について、市民から見たメリット・デメリットはどのようなことが考えられるか伺いたい。

市長 いすみ医療センターでは、平成28年度に新公立病院改革プランの策定を行う中で今後の継続的運営を確保するため、独立行政法人化を目指し検討を進めていくことを決定しました。
なお、法人化した場合、管理者が任命する理事長が運営者となることで、予算・組織・人事等の病院運営の根幹に関わる迅速な意思決定が可能となり、具体的には人事面における柔軟な職員配置やさまざまな雇用形態の活用及び契約面における多様な契約手法の導入等、スピード決定と経営の効率化に資する柔軟な病院になると考えています。経営面に関しては、構成

市町が定める中期目標に従って中期計画を策定し、その計画期間ごとに第三者機関である評価委員会の評価を受け、結果が公表されることで透明性が高く、自ら責任を持った主体的な病院運営が可能となることなどが挙げられます。なお、病院を改革しても、私たちはお金を出します。そのお金がしっかりと使われるか監視をします。

今年度の新公立病院改革プラン策定の中で、市民の皆さんが安心して受診できる医療サービスの提供と持続的な経営の確保の両立を目指すため、独立行政法人化を進めたいと考えています。

大規模災害時の備え

田井秀明議員

答 県・医療機関・関係団体と平時から相互に連携を図る

田井議員 被災時の医療の継続についてどのように認識しているか伺いたい。

市長 夷隅健康福祉センターを中心に、夷隅医師会、いすみ医療センターをはじめとする地域の医療機関、消防、警察、市をはじめ関係

市町の災害医療関係部門をメンバーとする夷隅地域災害医療対策会議を設置し、広域的な連携による医療救急活動のあり方や体制整備について協議検討を行っています。

特に夷隅地域は災害拠点病院がない地域であり、災害発生時、迅速な医療救急活動を実施するには、千葉県災害医療救護計画で災害医療協力病院に指定を受けており、地域の医療機関の中核であるいすみ医療センターを含む夷隅医師会との連携が非常に重要との認識のもと、市の災害医療即応体制の基本的考えを作成し、評価をいただいたところです。

災害時にはいすみ医療センターのほか、市で設置した救護所において対応し、重傷者については道路状況を考慮し、陸路のほかドクターヘリや自衛隊等の応援を受け、空路で県が指定する災害拠点病院や災害医療協力病院に搬送する計画です。

大規模な災害が発生した際に備え、医師の配置を含めた医療体制を整えておくことが大変重要な問題ですので、今後も県・医療機関・関係団体と平時から相互に連携をし、医療連携を含め

研修やより実践的な医療救護及び救急・救助訓練に取り組むとともに、災害時の通信手段の確保、医薬品や食料品の備蓄などに努めたいと思います。

平成28年(2016年)熊本地震を踏まえたいすみ市地域防災計画の見直し

高森和久議員

答 現状把握を行い、救助資機材などの装備品を検討する

高森議員 緊急車両の入れない市道等の対策について伺いたい。

副市長 幅員4メートルに満たない狭あい道路は、住環境上の問題や交通上の障害、消防・救急活動や避難の困難さ、延焼の危険性など、安全・防災上のさまざまな問題を抱えており、狭あい道路の解消に向けて整備を行う必要がありますが、狭あい道路の拡幅は、用地の確保さらに建物等の移転が必要不可欠であり、地域住民の合意形成、事業費の確保などが事業実施にあたっての大きな障害となり、事業化が非常に困難な状況です。

東日本大震災後、総務省消防庁におきまして、大規模災害発生時における消防本部の効果的な初動活動のあり方検討会が開催され、道路条件に起因する消防活動等の困難さが議論されています。

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部では、交通が困難な道路の対策として、狭あい道路など車両走行に支障がある場所を常に調査・把握し、対応策をとり迅速な救急・消防活動ができるようにしています。

市においても地域の消防団などにより常に現状把握を行っていますが、消防車両が進入できない場合に備え、今後、可搬消防ポンプやホース背負器、携行が容易な小型・軽量の救助資機材などの装備品を検討したいと考えています。

障害者差別解消法

荒井 正議員

答 夷隅地区自立支援協議会の枠組みの活用を含め、障害者差別解消支援協議会の設置に向け協議検討する

荒井議員 障害を理由とする不当な差別的取扱いに対する事例などを解消する組織を早急に設置する必要があると考えるが、障害者差別解消支援地域協議会の設置はどうか伺っているか伺いたい。

福祉課長 障害者差別解消支援協議会の設置については、その形態は市町村単独での設置や、既存の協議会等の枠組みを活用することも可能となっております。

現在、障害福祉に関し、夷隅郡市で構成する夷隅地区自立支援協議会が設置されており、この枠組みの活用を含め、設置に向け協議検討をしていきます。

また、今後は医療ケアの必要な障害者とその家族を地域で支えられるようにするため、健康・医療・福祉等医療的支援に関し、自治体と事業所が連携し、地域の課題や対応策について継続的に意見交換や情報を共有しながら取り組んでいきます。

観光振興政策

横山正樹議員

地域資源の価値を再認識し、民間と一体となつて地域創生を実現する

再認識し、民間と一体となつて地域創生を実現する

横山議員 観光政策が具体的な形となつて表れていないが、今後の取組や計画があるか伺いたい。

地域創生担当参事 東京から70分でアクセスできる優位性を生かし、都市に暮らす方々が「行ってみたい、食べてみたい、また来たい」と思えるまちづくりに取り組み、観光客の更なる増加に努めます。

特に今年、特産のイセエビをPRするためイセエビ祭りを開催することを決定しました。

また、2020年東京オリンピックでサーフィンが正式種目となり、会場が外房地域に決定されれば、市の知名度もアップすること

が期待されます。いすみブランドとして認定された器械根イセエビやアワビ、サザエ等は、昨年度実施した一流シェフを招いての現地商談会等を通じて認知度が上がり、価格も上昇しています。

オリンピック開催を機に、いすみの食材を更に磨き上げ情報発信を行い、最終的には世界中から食を求めて観光客の集まるスペインのサンセバスチャンを一つのモデルとして、今後、いすみ市食材を磨き上げての食の観光地化に取り組みます。

普段、市で何気なく見ている景色、食べている米や魚、吸っている空気、全て東京にはない宝です。こういった地域資源の価値を地域で再認識し、生産者、事業者、地域住民の方々など民間と一体となつて、市の地域創生を実現していきます。

公共施設の整備

山口朋子議員

安全かつ快適に利用できる施設の整備を進めたい

山口議員 平成28年3月定例会において、庁舎等のトイレの洋式化についてユニバーサルデザインに基づき整備を検討するとの答弁があったが、高齢者や妊産婦などが利用しやすいトイレを整備することについてどのように考えているか伺いたい。

市長 庁舎や一部の文化施設では、妊産婦等が利用するための機能が不十分となつており、不便をかけている状況にあります。3月議会においても答弁しましたが、今後、庁舎や文化施設など多くの方が利用する公共施設について

は、ユニバーサルデザインの理念に基づき、調査、検討を行い、手すり等の設置やトイレの洋式化など施設の利便性の向上を図り、高齢者や妊産婦の方たちが安全かつ快適に利用できる施設の整備を進めたいと考えます。

全国市議会議長会 永年在職議員を表彰

議員在職15年以上

石川光男 議員

5月31日に開催された全国市議会議長会第92回定期総会において、石川光男議員が永年在職表彰を受賞し、6月7日定例会前に本会議場において表彰状の伝達式を行いました。

(市議会議員として3年以上の在職期間を有し、町議会議員の勤続年数2分の1を通算)

市政を知るために 議会を傍聴しませんか

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受付をお願いします。なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

第3回定例議会日程(予定)

- 8月30日(火)10時 開会
- 議案の上程
- 9月1日(水)10時 一般質問
- 6日(火)10時 議案質疑
- 7日(水)9時 委員会
- 8日(木)9時 委員会
- 14日(水)9時 決算委員会
- 15日(木)9時 決算委員会
- 27日(火)10時 委員長報告
- 議案審議
- 閉会

編集 議会だより編集委員会
0470-6211406
ホームページアドレス
http://www.city.isumi.lg.jp/
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp

